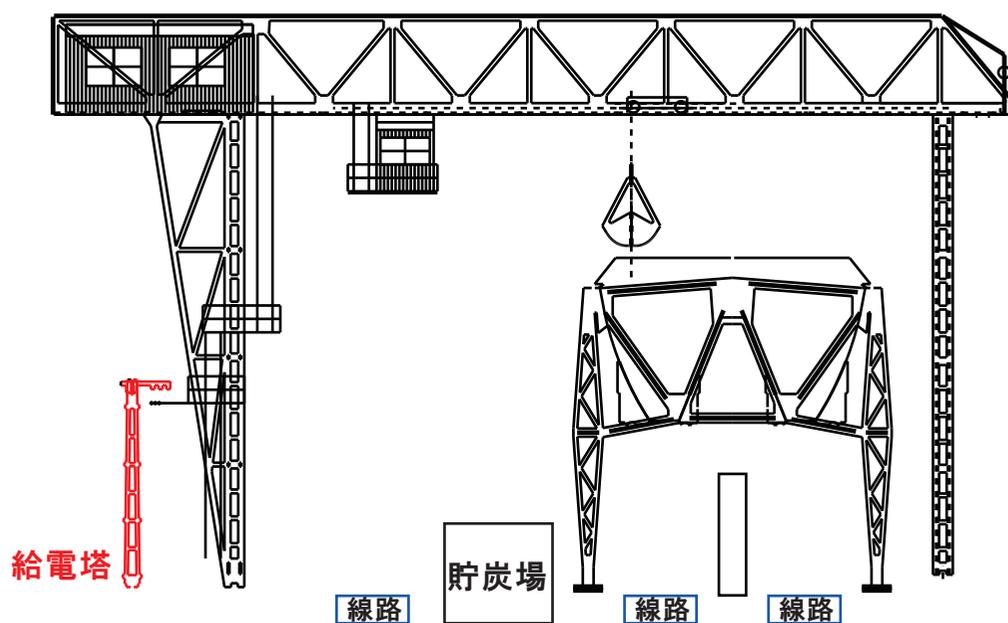


AAA アドバンス

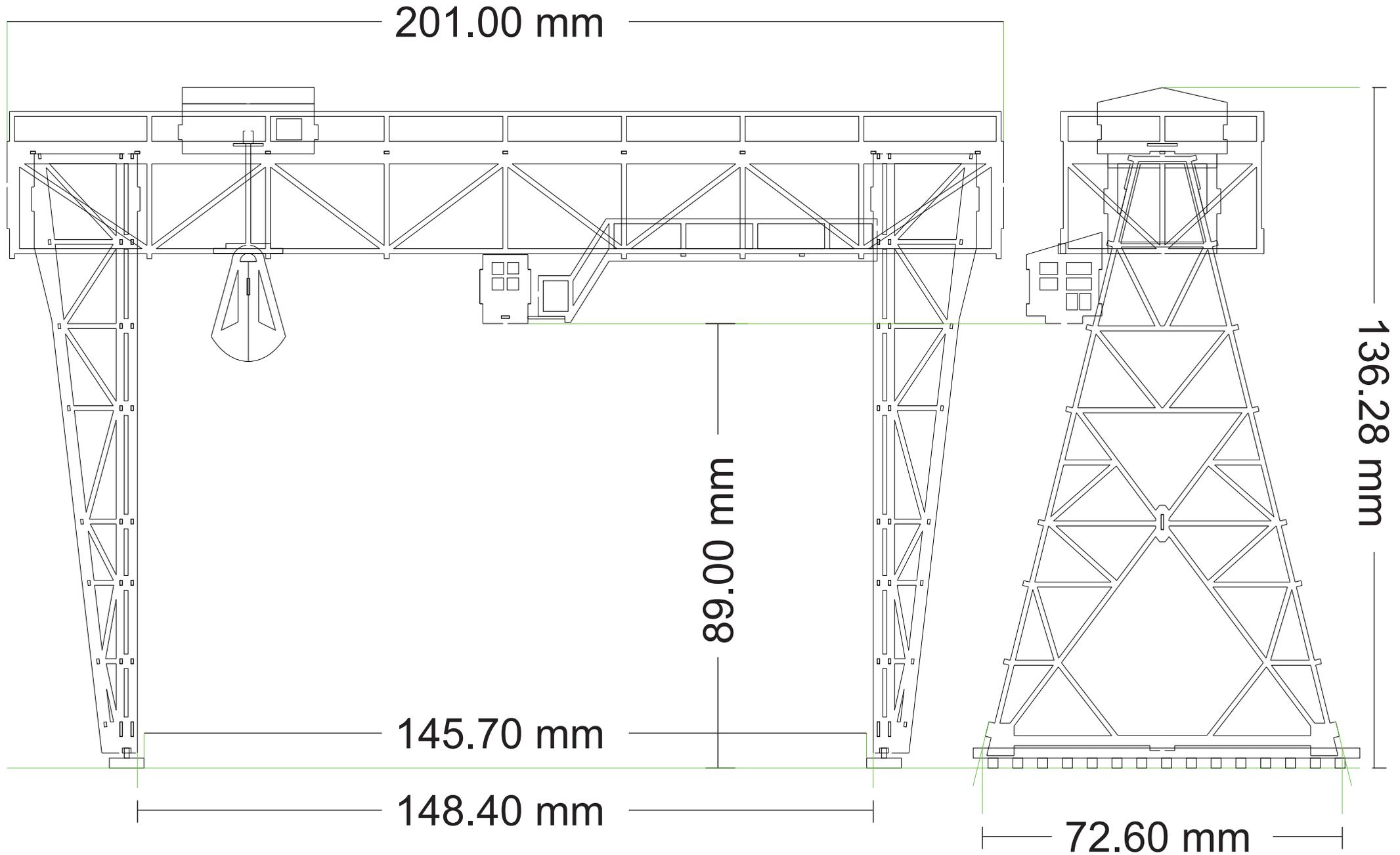
～給炭槽とガントリークレーン規格と組合せ例～



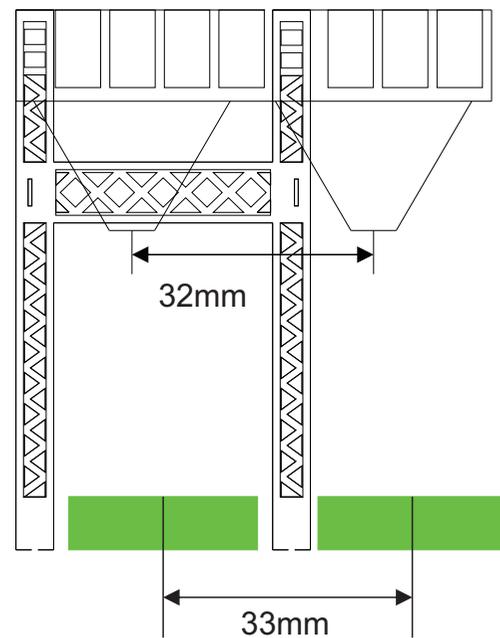
組合せ例で線路配置を載せていますが
実際には左の図のように線路3線の配置が基本です。

石炭は貨車から貯炭場の下ろし、貯炭場から給炭槽へ
補充が基本の流れだったようです。

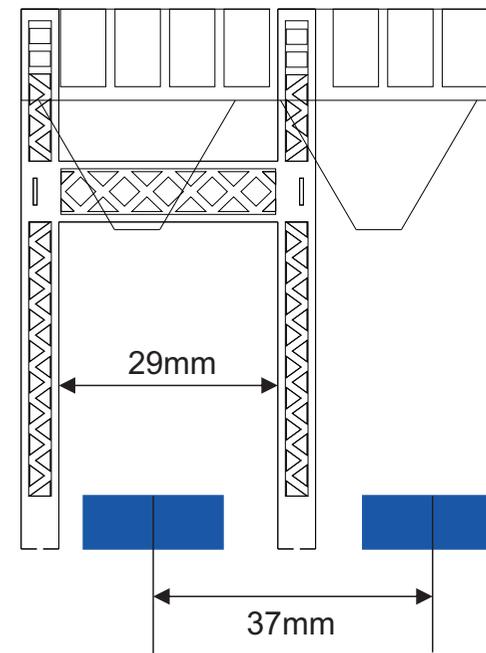
1002 Ngageガントリークレーン規格



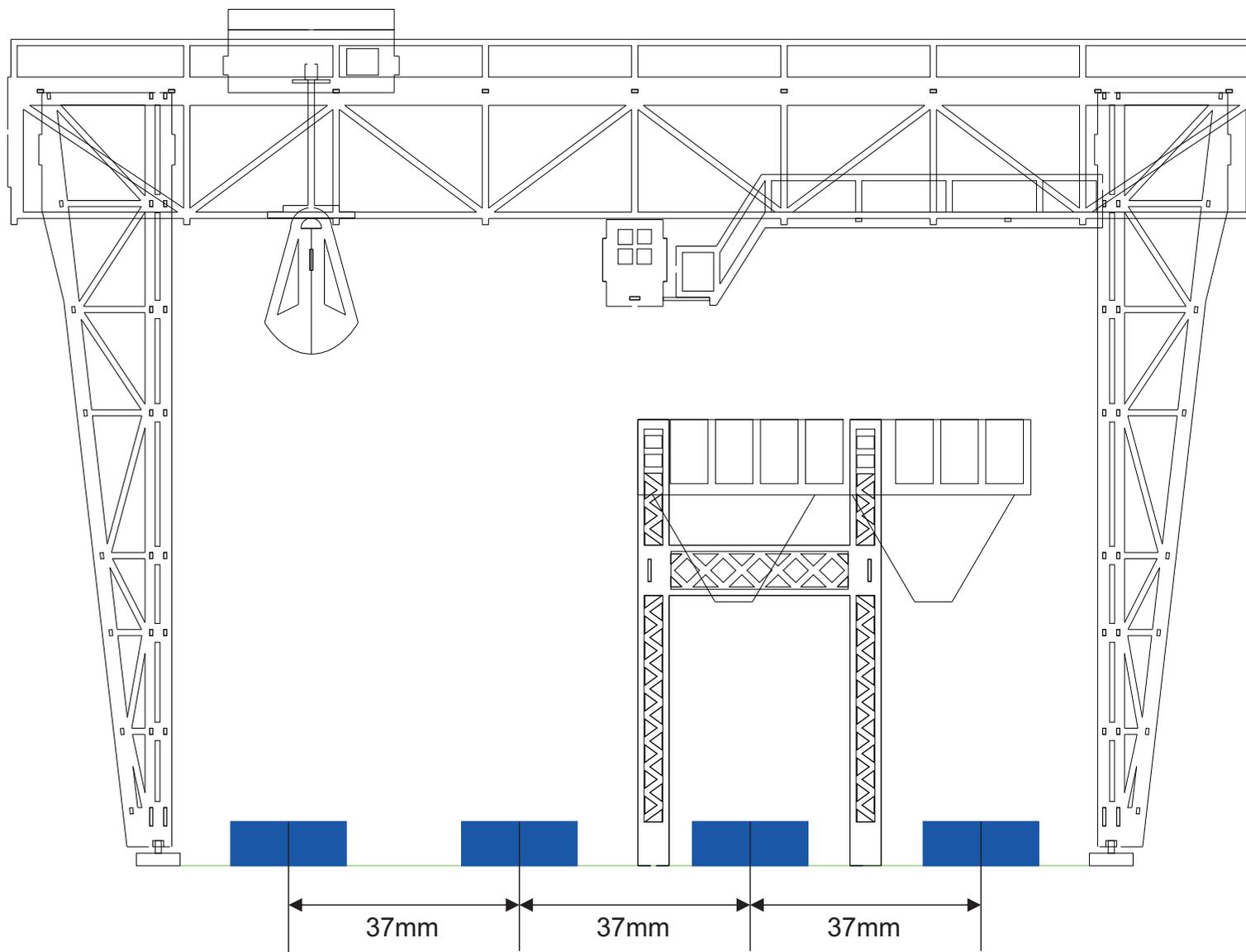
1001 Ngage給炭槽
KATO線路規格



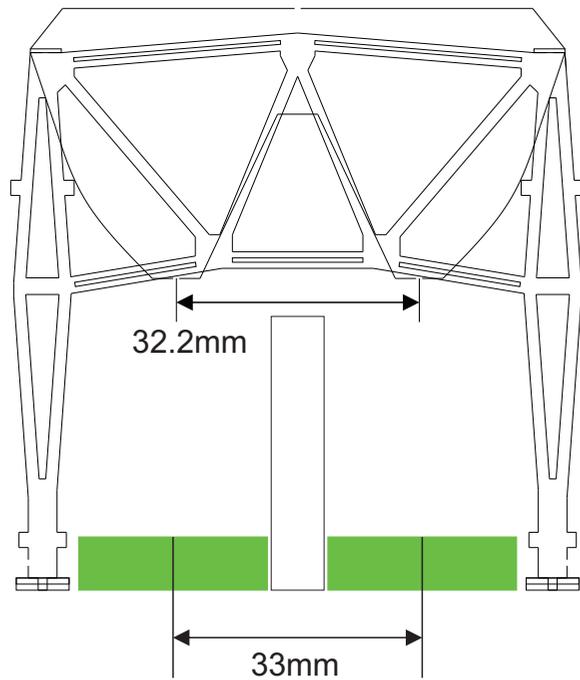
1001 Ngage給炭槽
TOMIX線路規格



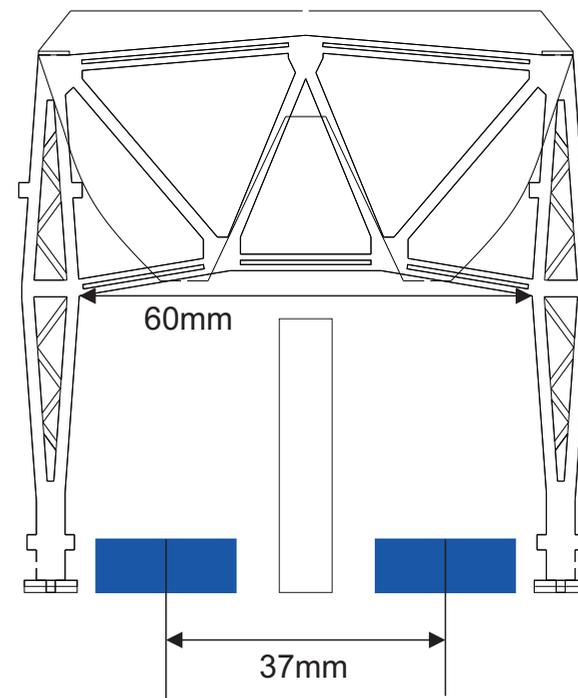
1002 Ngageガントリークレーン
1001Ngage給炭槽
TOMIX線路規格



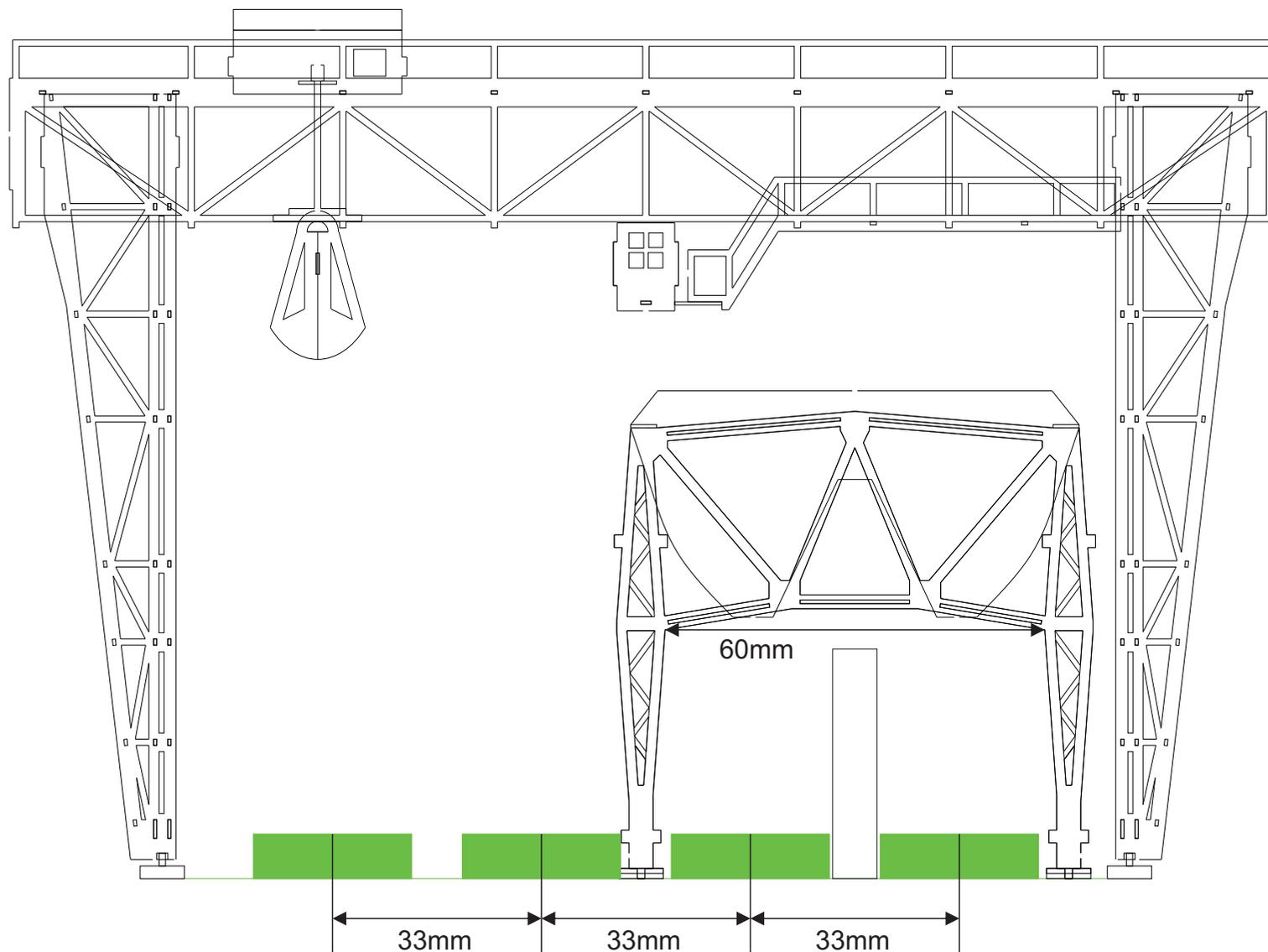
1005 Ngage新式複線形給炭槽
KATO線路規格



1005 Ngage新式複線形給炭槽
TOMIX線路規格

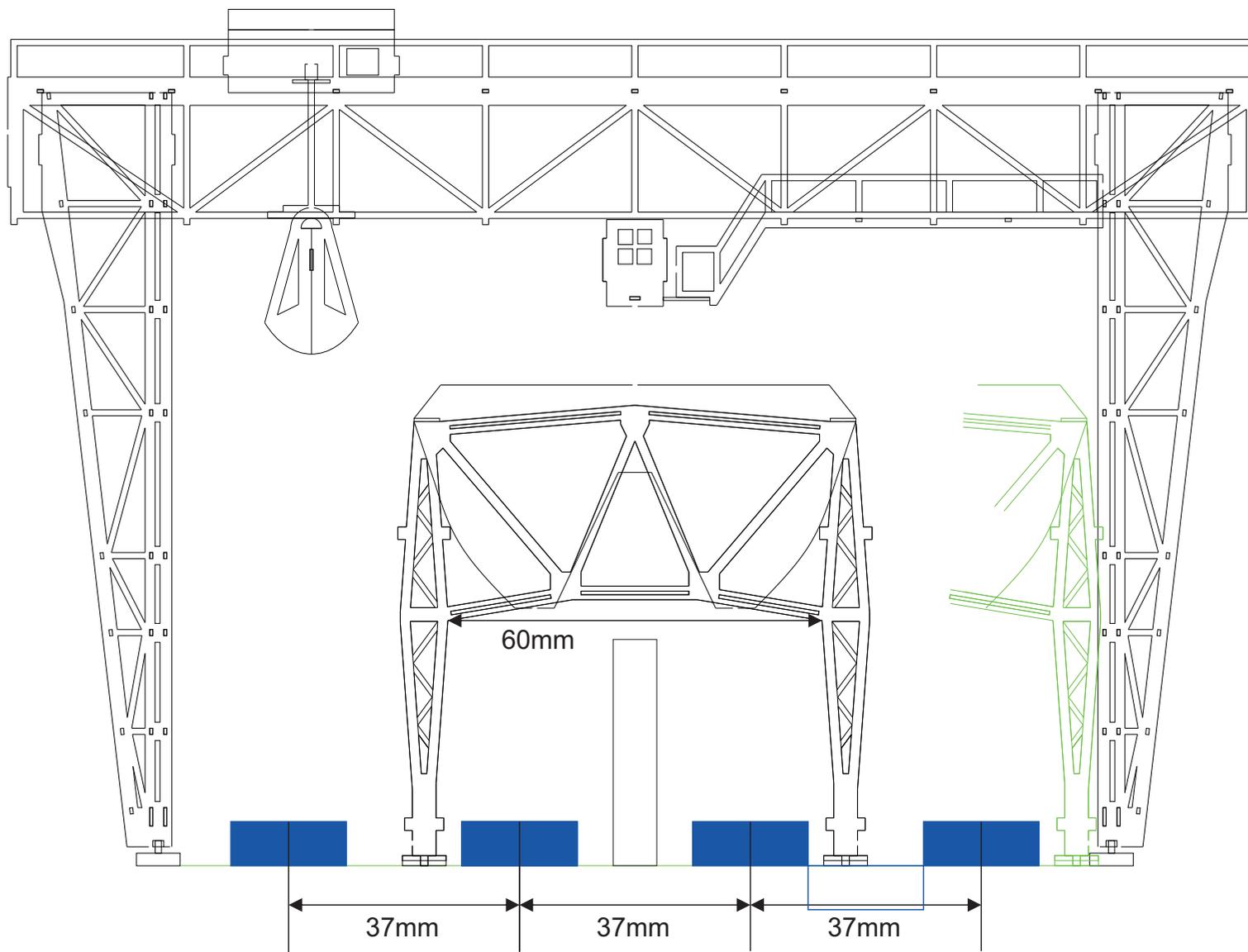


1002 Ngageガントリークレーン
1005Ngage新式複線形給炭槽
KATO線路規格

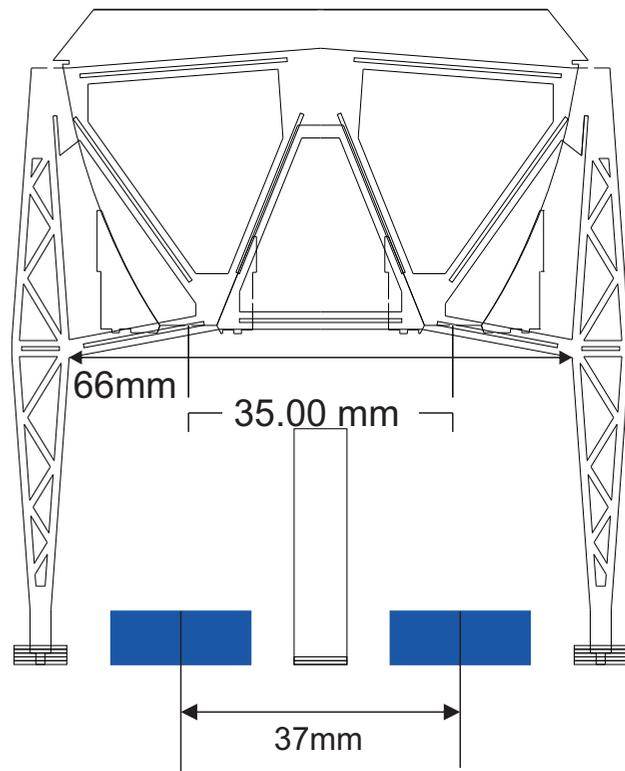


1002 Ngageガントリークレーン
1005Ngage新式複線形給炭槽
TOMIX線路規格

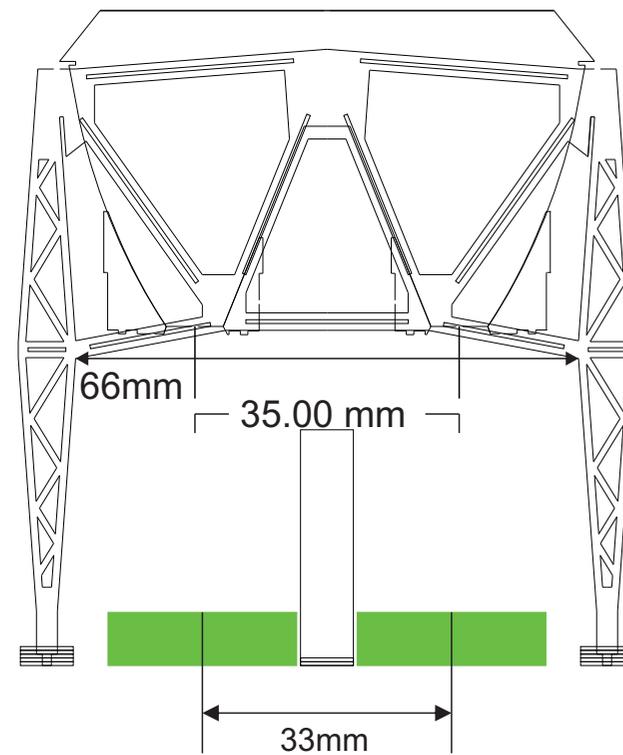
※給炭槽の設置位置に配慮が必要です。
寄せると干渉の恐れがあります。
KATOの場合は問題ありません。



1012 Ngage複線形給炭槽
旭川機関区タイプ
TOMIX線路規格

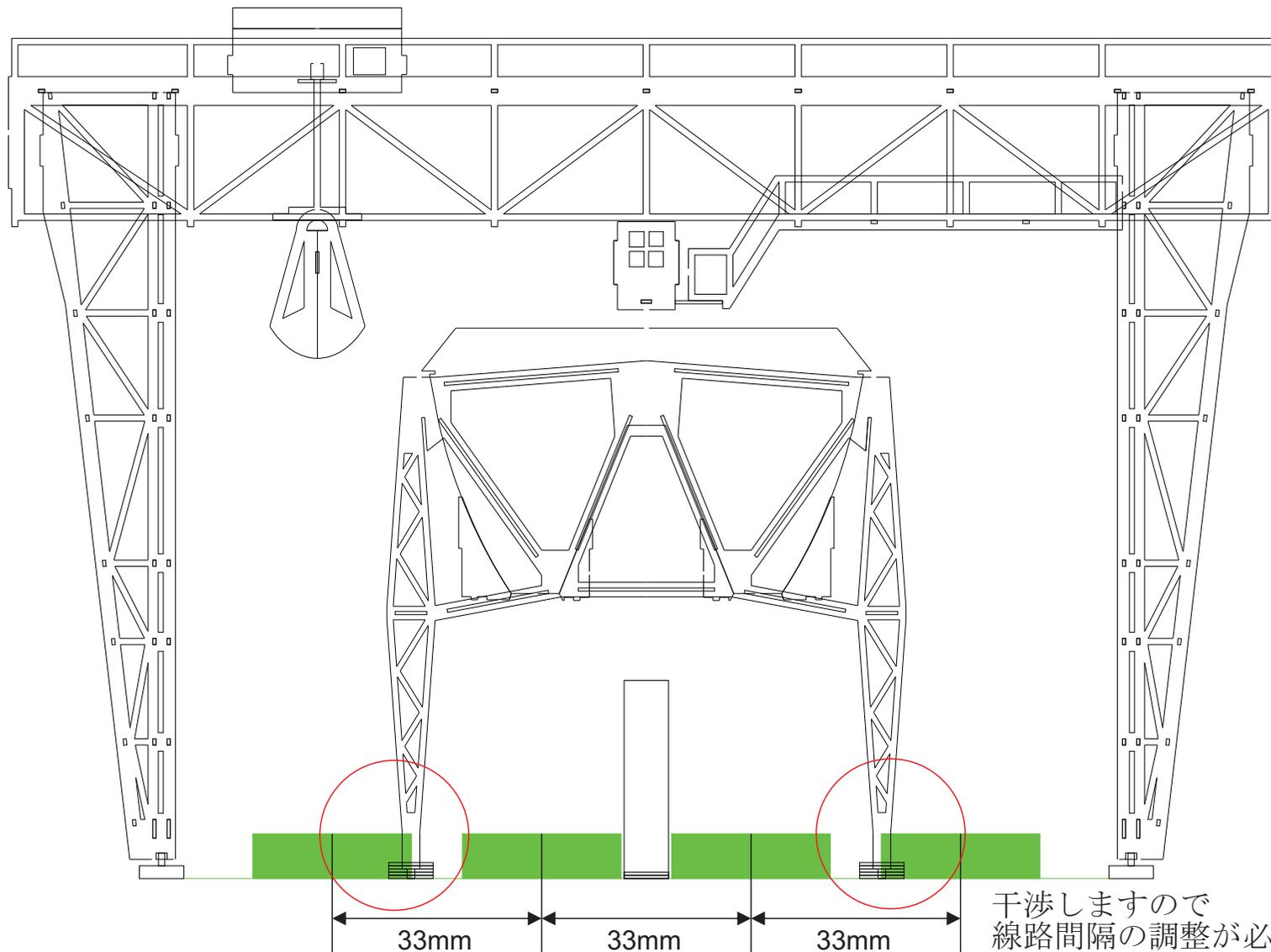


1012 Ngage複線形給炭槽
旭川機関区タイプ
KATO線路規格



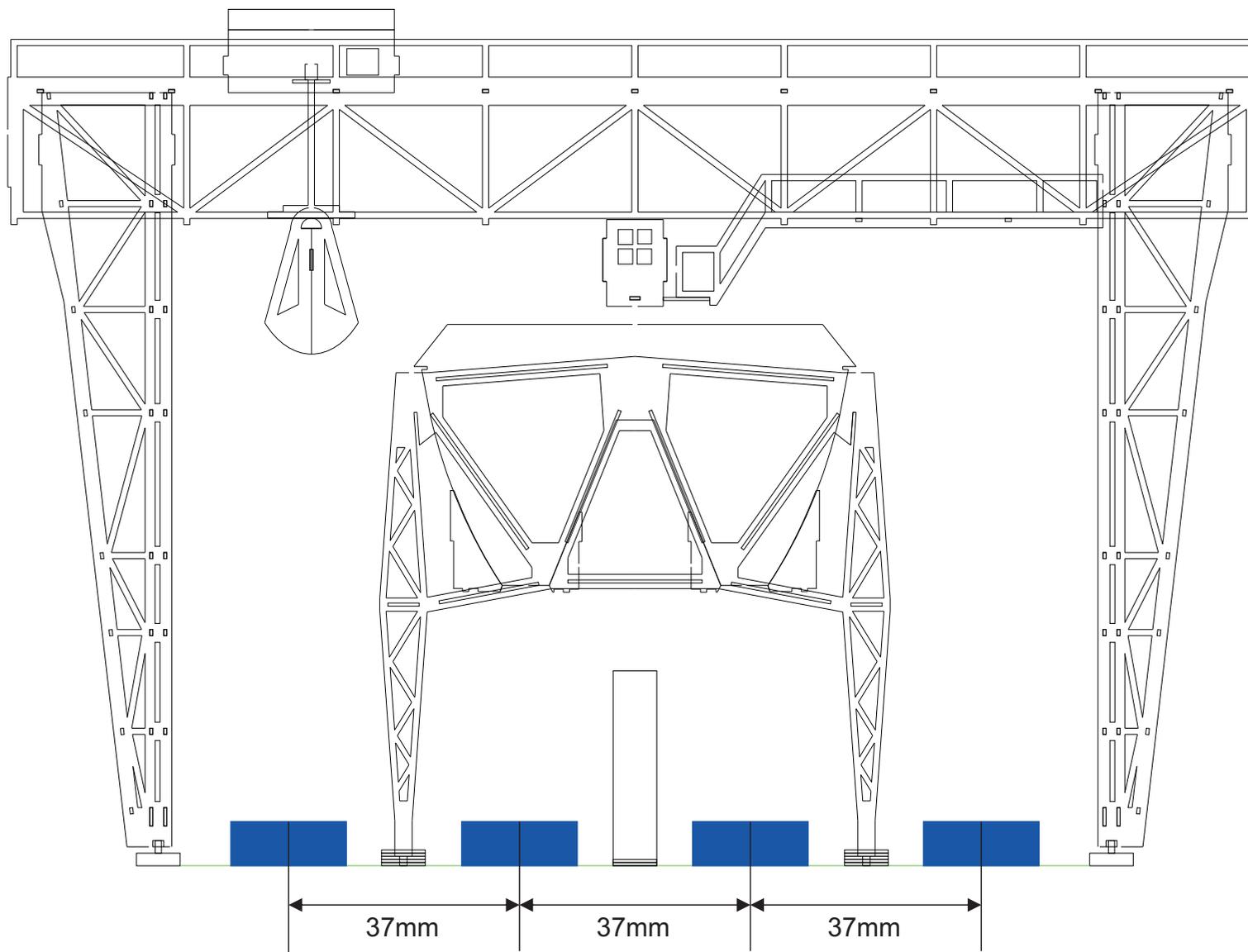
1002 Ngageガントリークレーン
1012 Ngage複線形給炭槽旭川機関区タイプ
KATO線路規格

- ※ 4本線路を配置すると干渉しますので3線にして間隔を調整してください。
- ※ 1005よりも高さがありますのでフレキ線路の下に下駄を履かせてガントリークレーンを**10mm嵩上げ**しすることをお勧めいたします。

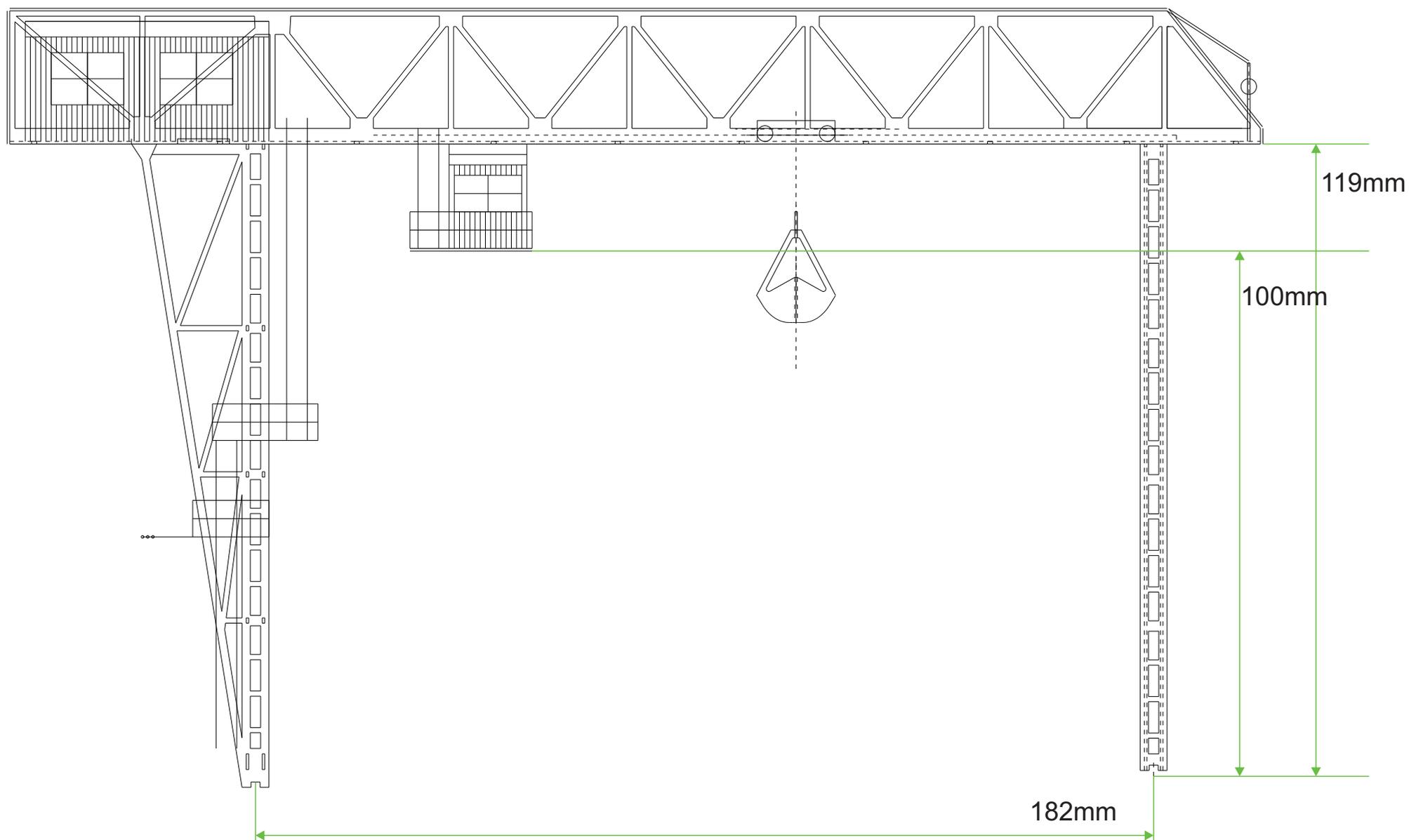


1002 Ngageガントリークレーン
1012 Ngage複線形給炭槽旭川機関区タイプ
TOMIX線路規格

※干渉はありませんがフレキ線路の下に
下駄を履かせて、ガントリークレーンを
10mm嵩上げすることをお勧めいたします。

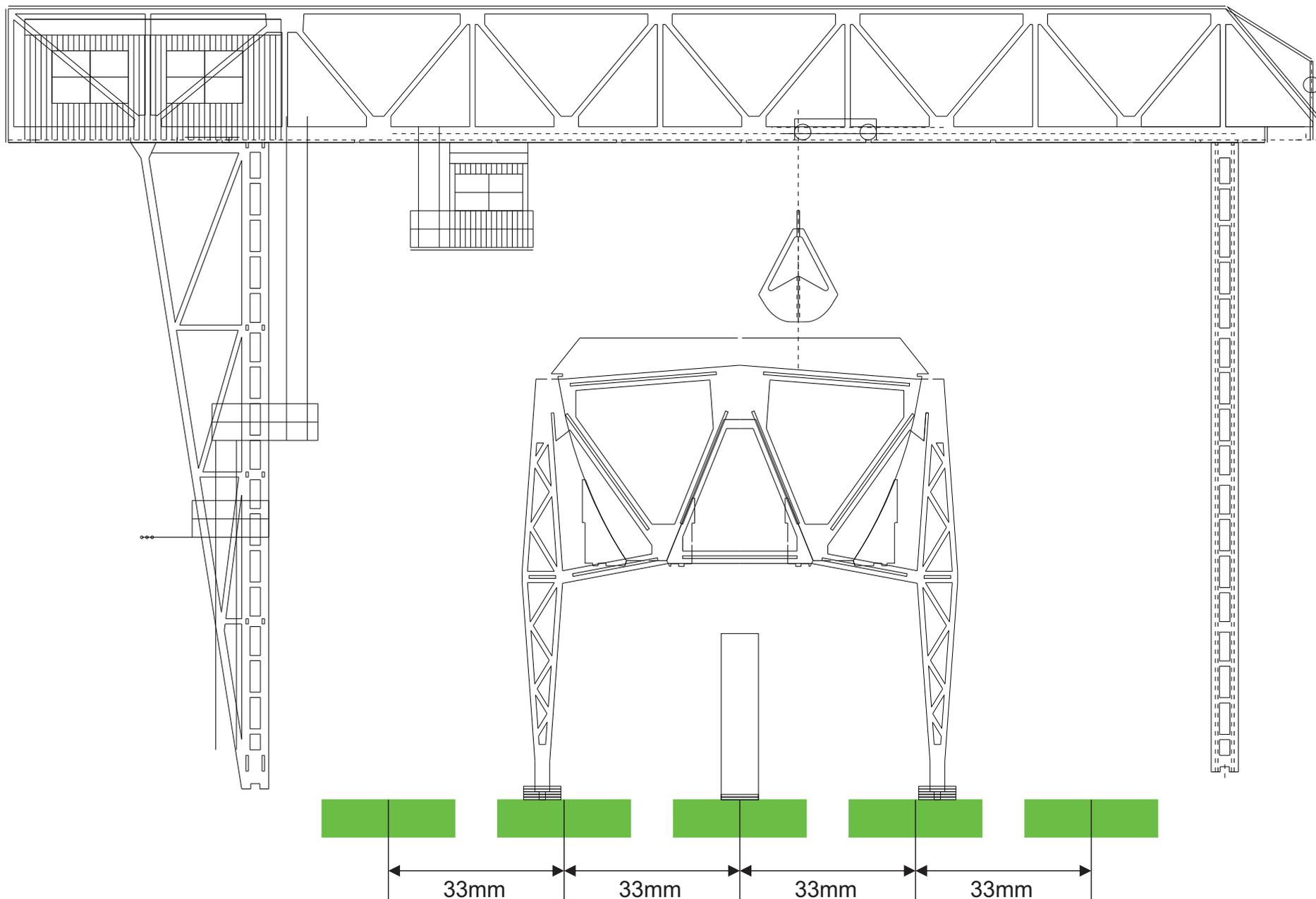


1013 標準型ガントリークレーン



1012複線形給炭槽旭川機関区タイプ
1013標準型ガントリークレーン

※KATOの場合 5線まで対応可。
旭川機関区は3線でした。



1012Ngage複線形給炭槽旭川機関区タイプ
ガントリークレーン旭川機関区タイプ (案)

※TOMIX 5線まで対応可。
旭川機関区は3線でした。

